

鉄コーティング直播 マニュアル



<R6産 重点対策ポイント>

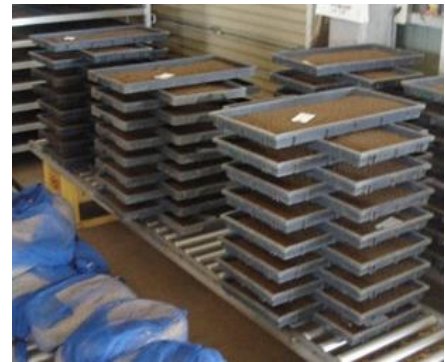
- ・ 種子が田面に張り付き、施肥溝が埋まらない程度の圃場の硬さで播種する。
- ・ 播種5～7日は深水による湛水管理を行う。
- ・ 茎数が確保しやすいので、早めに中干しを開始し、中干し後は干しすぎない。

令和6年4月

アルプス農協管内農業技術者協議会

1. 種子の準備

- ・ 種子の浸種は芽が動き出す前の積算温度 60 度程度としましょう。
- ・ 種子のコーティング比は 0.5 倍量とします。
- ・ コーティング直後の種子は、発熱による発芽率の低下の危険があるので、すぐに苗箱等に薄く広げ（右写真参照）、十分に乾燥させてから保管しましょう。
- ・ 播種前に必ず種子の発芽率を確認しましょう。



2. 代かき

- ・ 代かきは水を少なめに行い、稲株や雑草をしっかりとすき込みましょう。
- ・ 圃場が均平になるよう移植より丁寧に行うが、ねり過ぎないように注意してください。

3. 播種

- ・ 代かき後、自然落水した状態で播種しましょう。
- ・ 播種時の圃場の硬さは、種子が田面に張り付き、施肥溝が埋まらない程度としましょう。

適正



種子がピタッと張り付き、施肥溝が埋まらない程度の硬さ。



不適



種子が土中に埋まると発芽率が確実に低下します！



- ・適期に適正な播種量で作業を行い、目標苗立数 40～60 本/m² (m間 12～18 本) を確保しましょう。

播種時期	10 a 当たり播種量
4 月 25 日～5 月 10 日頃	乾粃で 3.0kg (コーティング種子で 5.0kg 程度)

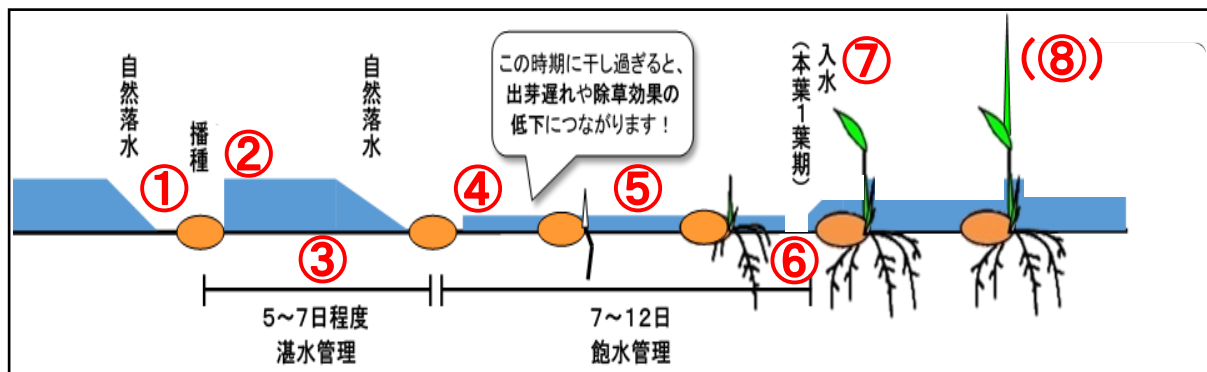
- ・基肥は、倒伏防止のため、移植栽培より窒素成分で 1.0～1.5kg/10a の減肥を目安に施用しましょう。

表 施用量の目安

土壌区分	肥料名	施用量 (/10a)
砂壤土	鉄コート直播コシヒカリ専用 (N-P-K=22-5-20) または	32kg 程度
壤土・黒ボク		28kg 程度
粘質土	LPss 直播コシヒカリ (N-P-K=21-14-14)	23kg 程度

4. 水管理

(1) 播種～本葉 1 葉期頃までの水管理

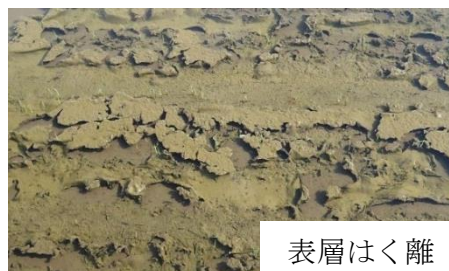


<時期別の水管理方法>

- ①代かき後、自然落水した状態で播種します。
- ②播種作業が圃場の3分の2程度終わった頃にゆっくり入水し、除草剤を散布します。
- ③播種終了後、5～7日は水深5cm程度の湛水管理を行います。
- ④自然減水した後は飽水管理とし、ヒタヒタ水の状態にして出芽させます。
- ⑤出芽後もイネ1葉期まで飽水管理を行います。
- ⑥イネを落ち着かせるために、軽く田干しを行います。
- ⑦イネ1葉期に入水し、浅水管理(水深2～3cm程度)を行います。
- (⑧イネ1.5葉期から2葉期に、残草状況を確認し、除草剤を散布します。)

<注意>

- ・播種後の高温で雨が少ない場合に、表層はく離（表土が膜状に浮き上がる現象）が発生することがあります。表層はく離により、出芽直後の苗を持ち上げたり、つぶしたりするので、田干しを行ってください。
- ・スズメの食害は2葉期頃まで注意し、侵入した場合は速やかに湛水してください。
- ・カモの食害は3葉期頃まで注意し、侵入した場合は速やかに落水してください。



(2) 中干し

- ・移植に比べ、分げつが発生しやすく、急速に茎数が増加します。そのため、6月上旬までに溝を掘り、目標穂数の80%である茎数100本/m程度になったら遅れずに中干しを実施しましょう。
- ・中干しは、土の表面に小さなヒビ割れができる程度に干しましょう（3～5日間落水）。
- ・干し過ぎは、穂数不足や除草効果の低下につながるので注意してください。



中干しの終了は、圃場中央部でくるぶしが軽く沈む程度が目安

(3) その後の水管理

- ・移植栽培と同様に水管理を行ってください。

5. 雑草防除

- ・鉄コーティング直播では、稲の出芽苗立ちまで時間がかかりますが、雑草の芽は、代かき直後から動き出します。そのため、**必ず播種時又は播種直後に除草剤を散布**してください。

(1) 播種時又は播種直後

除草剤名	使用時期	使用量 (/10a)
ベルーガ1キロ粒剤	播種時～ノビエ2.5葉期まで (ただし、収穫75日前まで)	1kg
プライオリティ1キロ粒剤	播種時～ノビエ3葉期まで (ただし、収穫90日前まで)	1kg

(2) イネ1.5～2葉期

雑草の状態を確認し、必要に応じて、直播に登録のある「エンペラー1キロ粒剤」等の一発処理剤を散布しましょう。

(3) 中後期剤

雑草の発生状況を確認して、下記の除草剤を散布してください。

発生草種	除草剤名	使用時期	使用量 (/10a)	使用上の注意点
ノビエ	クリンチャー ジャンボ	播種後10日～ノビエ3葉期 (ただし、収穫30日前まで)	50g×20個	・効果を高めるため、 6 cm程度の深水で 散布し、散布後 5日間は湛水状態を 保つ。
		播種後25日～ノビエ4葉期 (ただし、収穫30日前まで)	50g×30個	
	トドメMF 1キロ粒剤	イネ3.5葉期～ノビエ4葉期 (ただし、収穫50日前まで)	1 kg	・効果を高めるため、 5 cm程度の湛水状態 で散布する。
	トドメMF 乳剤	播種後10日～ノビエ6葉期まで (ただし、収穫50日前まで)	200mL 希釈水量 25～100L	・雑草の茎葉に確実に 付着するよう散布 する。 ・散布後3～4日間は 湛水状態を保ち、 散布後7日間は 落水、かけ流しを しない。 ・展着剤は加用し ない。
ノビエ マツハイ ホタルイ	アクシズMX 1キロ粒剤	イネ2葉期～ノビエ3.5葉期 (ただし、収穫45日前まで)	1 kg	・散布後5日間は 湛水状態を保つ。
	テッケン 1キロ粒剤	イネ4葉期～ノビエ4葉期 (ただし、収穫60日前まで)	1 kg	
	トドメバス MF液剤	播種後10日～ノビエ6葉期 (ただし、収穫50日前まで)	1000mL 希釈水量 100L	・落水状態で散布し、 散布後3～4日間は 入水しない。 ・散布後に晴天が続く ような日を選んで 散布する。 ・展着剤は加用し ない。
ノビエ 一年生 広葉 雑草 クサネ	ロイヤント 乳剤	イネ3葉期～ノビエ5葉期 (ただし、収穫45日前まで)	200mL 希釈水量 100L	・落水状態で散布し、 散布3日以内に 入水する。 ・散布後7日間は 落水、かけ流しを しない。 ・展着剤は加用し ない。
マツハイ ホタルイ ミスガヤツ リ 他	バサグラン 粒剤	イネ3葉期～入水50日後 (ただし、収穫60日前まで)	3 kg	・落水状態で散布し、 散布後3～4日間は 入水、落水をしない。 ・散布後に晴天が続く ような日を選んで 散布する。

6. 病害虫防除

(1) イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ

- ・播種同時施薬機で病害虫防除を行わない場合や、種子塗抹を使用しない場合に、発生が見られたら、5月下旬～6月上旬に以下を参考に防除してください。

対象害虫	防除の目安	薬剤名	使用量 (/10a)	使用上の注意点
イネミズゾウムシ	成虫数 3.0頭 /10株	トレボン 粒剤	2～3kg	<ul style="list-style-type: none"> ・湛水状態（3～5cm）で均一に散布する。 ・散布後、少なくとも4～5日間は湛水状態を保つ。（7日間は、落水、かけ流しはしない）。
イネドロオイムシ	成虫数 0.5頭 /10株	トレボン 粉剤DL	3kg	<ul style="list-style-type: none"> ・前年多発した圃場等では発生状況を必ず確認する。



イネミズゾウムシ(幼虫)と食害



イネドロオイムシ(幼虫)と食害

(2) いもち病

- ・播種同時施薬機で病害虫防除を行わない場合や種子塗抹剤を使用しない場合に、下記の薬剤で、確実にいきましょう。

対象害虫	薬剤名	散布時期	使用量 (/10a)	使用上の注意点
いもち病	ルーチン粒剤	6月15日頃	1kg	<ul style="list-style-type: none"> ・湛水状態（水深3～5cm）で均一に散布する。 ・散布後少なくとも7日間は湛水状態を保ち、田面を露出させず、落水およびかけ流しをしない。

(3) その他の病害虫防除

- ・移植に準じて防除を行ってください。